

柏市最終処分場の放射性廃棄物の 仮保管について

柏市環境部 北部クリーンセンター

1 経緯

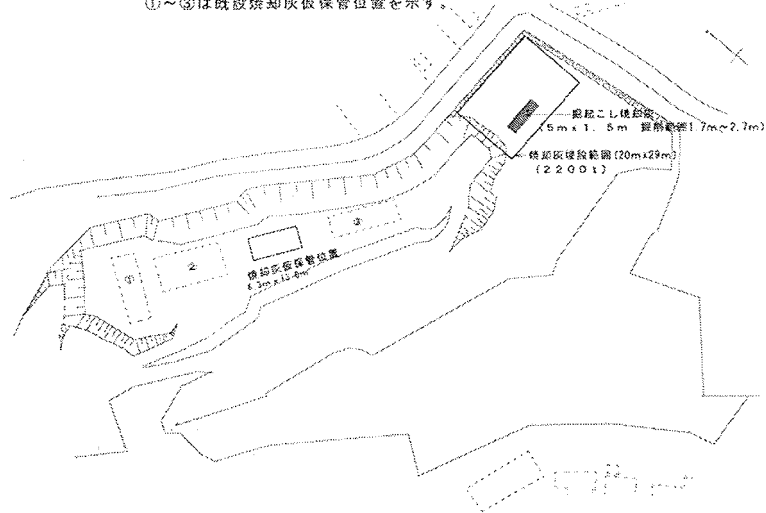
H23.3/12～6/28	北部クリーンセンターで発生した焼却灰を柏市最終処分場に埋立(約2,200t)
H24.6/4～10/5	埋立範囲を格子上に12等分し、埋立面から1m及び2mの深さの焼却灰の放射能濃度測定実施 1箇所から8,000ベクレル超を確認(9,130ベクレル/kg)
H25.7/11～8/20	8,000ベクレル超の焼却灰の埋設範囲と濃度分布を把握するためにボーリングによる詳細調査実施
H25.12/18～H26.3/14	焼却灰の一部を回収し、ドラム缶60本に詰め、仮保管作業を実施

※南部クリーンセンターの焼却灰については、平成24年3月19日に仮保管済(ドラム缶400本)

2 柏市最終処分場の焼却灰仮保管状況

焼却灰仮保管場所平面図

①～③は既設焼却灰仮保管位置を示す。



2

3 作業前後の空間放射線量測定結果

空間放射線量(マイクロシーベルト/毎時)

測定場所	作業着手前 (H26.1/14)	作業完了後 (H26.2/25)
掘削場所周辺	0.20	0.14
仮保管場所周辺	0.18	0.18
敷地境界	0.15	0.14
ドラム缶表面線量	1.20 (覆土前)	0.14 (覆土後)

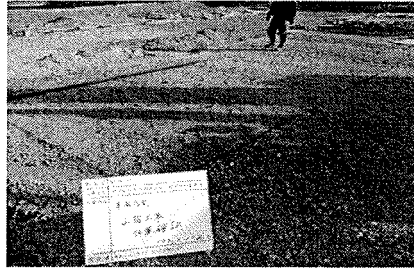
※ 放射線量は、測定場所での最大値

(1)作業期間 H25.12/18～H26.3/14 実施業者 東京ニュークリアサービス(株)

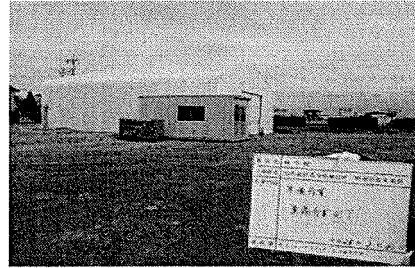
(2)焼却灰の放射性物質濃度(ベクレル/kg)測定結果 最大10,453ベクレル/kg

3

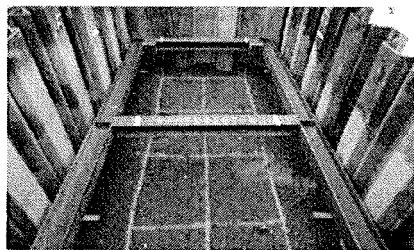
4 焼却灰の一部回収状況と仮保管の作業状況



掘削範囲(5m×1.5m)



掘削・ドラム缶詰め作業用テント

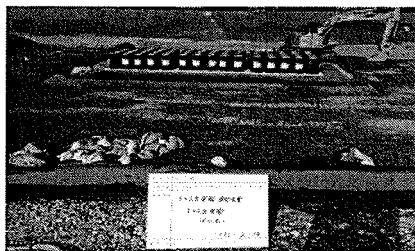


掘削範囲 地表面から深さ1.7m～2.7m

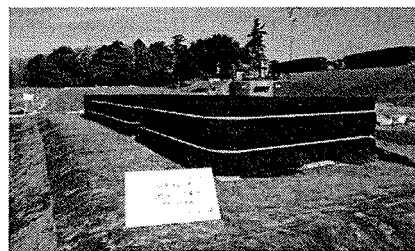


ドラム缶詰め作業(ポリエチレン袋+ドラム缶)

4



ドラム缶仮保管(赤土50cm+遮水シート1.5mm)
保管本数 60本



ドラム缶仮保管(上部遮水シート1.5mm)



ドラム缶周囲覆土(厚み30cm～40cm)



土砂流失防止用ブルーシート+ネット

5